

第4回定例研究会

「味の美（感性）的起源と味覚センサーの創る世界」

第4回定例研究会は、九州大学大学院システム情報科学研究院主幹教授・研究院長の都甲潔先生をお招きして、「味の美（感性）的起源と味覚センサーの創る世界」と題して講演いただきました。都甲潔先生のご経歴は、下記の通りです。

【講師プロフィール】

福岡生まれ、福岡育ち。昭和50年九州大学工学部電子工学科卒業。昭和55年九州大学大学院工学研究科博士課程修了。九州大学工学部電子工学科助手、助教授を経て現在、九州大学大学院システム情報科学研究院主幹教授・研究院長。味覚センサー開発の功績で平成18年度文部科学大臣賞、平成20年度安藤百福（ももふく）賞、平成21年度井上春成（はるしげ）賞、平成22年度第1回立石賞、匂いセンサー搭載ロボットの開発で平成19年度消防庁長官表彰、感性ナノバイオセンサーの開発で平成20年度応用物理学会フェロー表彰等、多くの賞を受賞。なお、「主幹教授」とは「研究専門分野において極めて高い業績を有し、かつ研究戦略の先導的役割を果たす者」に与えられる称号で、欧米での Distinguished Professor に相当するもの。『プリンに醤油でウニになる』（ソフトバンククリエイティブ）、『感性の科学』（朝倉書店）、『感性の起源』（中央公論新社）、『味覚を科学する』『旨いメシには理由（わけ）がある』（角川書店）、『ハイブリッド・レシピ』（飛鳥新社）など著書多数。

講師

都甲 潔 氏（九州大学大学院 システム情報科学 研究院主幹教授・研究院長）

テーマ

味の美（感性）的起源と味覚センサーの創る世界

講演日

2010年10月16日（土） 14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205

